

別紙1 選定結果

(1) 企画の趣旨

項番	評価項目	評価内容
1	目的、意義	○本業務の目的及び意義を正しく理解し、エンタープライズアーキテクチャー(EA)の分析手法を踏まえた企画となっている。 本調査の目標が、利便性の向上とトータルコストの削減の両立の可能性も検討するとの前向きなものとなっている。

(2) 座長及び外部専門家の選定

1	人選	○本調査を実施していく上で不可欠な専門分野からの人選である。
---	----	--------------------------------

(3) 検討会の実施計画及び作業スケジュール

1	実施計画	○検討会の下に2つの検討部会の設置とそれぞれの部会の役割が示されており、評価できる。
2	作業スケジュール	○無理のない作業見積、工程、期間が記述されている。

(4) 調査・検討の実現手法

1	業務分析	○業務分析を実施するための分析手順が示されている。
2	システム分析 (各論:大型電子計算機を利用する業務処理とシステムとの関係)	○仕様書に記載した当該システムの概要を十分に理解し、システム分析の手法として通常必要とされる必要十分な調査項目が提案されている。
3	システム分析(総論)	○システムの安定性・信頼性、セキュリティの確保の観点から分析することが明記されている。
4	現行システムの経済性(コスト面)の評価	○現行システムの経済性(コスト面)について、必要な機器(ソフトウェアを含む。)の費用算定方法の妥当性、契約・調達方法の観点を中心に評価を行う提案となっている。
5	まとめ	○刷新案の策定において、利便性を含めた将来システムが持つべき性質と実現程度や、具体的な改善策とその実現スケジュールやトータルコストを示す提案となっている。

(5) 調査体制(システム監査、システムコンサルティングの実績等)

1	責任分担	○効率的な調査体制となっており、責任分担は明確である。
2	システム監査人等の配置	○実現体制の中に、必要とされるシステム監査人を配置しており、適正である。
3	他システムでの実績等	○実現体制の中に、システム監査実績を有する者が配置されている。

(6) 見積価格

1	見積価格	○予定価格の範囲内であり、業務提案量に対して適切な価格設定である。
---	------	-----------------------------------

(7) その他(必須ではない)

1	その他の追加作業	○最適化計画の策定についての準備作業を含んでおり適切である。
---	----------	--------------------------------

(8) 添付資料

1	企画書で根拠とする資料	○本調査の企画提案に参考になる参考資料が添付されている。
---	-------------	------------------------------

総評	レガシーシステム刷新可能性調査の実施にあたっての適切な企画提案となっている。
----	--